

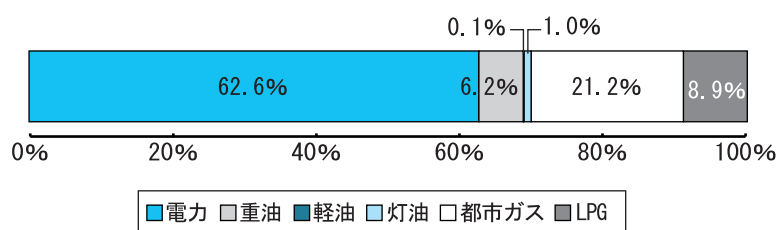
特に、エネルギーの総消費量の大きい「市民会館」「福祉センター」では熱の割合が8割程度であり、さらに2つの「給食センター」では9割程度にまで達しているものと考えられる。また、エネルギー消費量の大きい公共施設では、熱需要の大きい傾向にあることがわかった。

2. 民間事業所におけるエネルギー消費状況

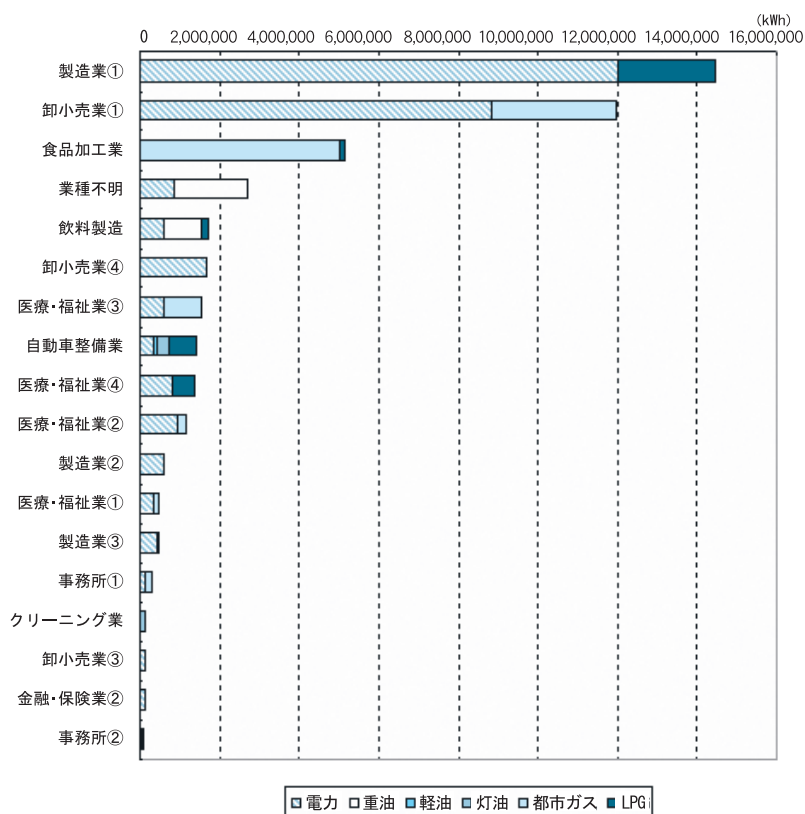
(1) 燃料種別エネルギー消費量

平成16年度の電気、A重油、軽油、灯油、都市ガス、プロパンガスの6種の燃料消費実態を把握するため、月次の消費量を調査した。

対象となった18施設の一年間のエネルギー消費総量は6,266万kWhに達しており、燃料種別に見ると「電気」が6割、重油、軽油、灯油などの「石油系」が1割弱、都市ガス、LPGの「ガス系」が3割強を占めている。ガスについては、その多くが「都市ガス」で占められており、全体の21.2%に達している。



調査対象民間事業所全体の燃料種別エネルギー消費構造



調査対象民間事業所ごとの燃料種別エネルギー消費量